

長与町議会 50周年記念事業
特別委員会会議録

(平成30年10月26日)

長 与 町 議 会

長与町議会50周年記念事業特別委員会会議録

本日の会議 平成30年10月26日

招集場所 長与町議会議事堂（会議室）

出席委員

委員長	金子 恵	副委員長	河野 龍二
委員	浦川 圭一	委員	中村 美穂
委員	安部 都	委員	饗庭 敦子
委員	安藤 克彦	委員	分部 和弘
委員	西岡 克之	委員	岩永 政則
委員	喜々津 英世	委員	山口 憲一郎
委員	堤 理志	委員	吉岡 清彦
委員	竹中 悟		

出席委員外議員

議長 内村 博法

職務のため出席した者

議会事務局長	谷本 圭介	議事課長	富永 正彦
参事	森本 陽子		

本日の委員会に付した案件

- (1) 報告書について
- (2) その他

開 会 9時30分

閉 会 10時13分

○委員長（金子恵委員）

定足数に達しておりますので、本日の長与町議会50周年記念事業特別委員会を開催いたします。

前回第3回のときに報告書の第2回の特別委員会までの主な意見、そこまでを記入した部分をお渡ししておりました。そして今回、お手元にあるのは第3回目までをまとめまして、その後に終わりにということで総評というところを添付して新たにお渡しはしておりますけれども、まず、前回お渡しした、中途半端でしたけれども、2回までの報告書の中で、お気づきの点、そして表現、言葉遣い、そういうもので何かありましたら御意見をいただきたいと思います。今日の資料の中ではちょっと順番が変わった部分もありますけれども、大まかなところは言葉遣いとか、文章自体の中で表現の不備とかなかったか、その辺りで気づきはなかったでしょうか。そしたら今日新たに出ささせていただきましたこの資料は、第3回目の特別委員会の主な意見、そして、総評の終わりにということで添付をさせていただいております。こちらの方を一応読み上げたいと思いますので、事務局の方からお願いします。

局長。

○議会事務局長（谷本圭介君）

おはようございます。第3回特別委員会平成30年10月19日の分よりお読みいたします。記念事業に関する調査の結果を基に、報告書をまとめ議長に報告することとした。また実施に関しては議長の判断を仰ぎ全員協議会において検討することとした。その中で主な意見でございます。調査して議長に報告を上げるだけでよいのではないか。調査票を基に実施することの同意を得、報告書をまとめる。作業部会5、6人を作り実施することもよいと考える。特別委員会を作ったのだから、この委員会内で小委員会を作ってもよいと思う。この委員会は議長諮問である。結果を答申または（報告書）し、実施するかは議長が判断することになっている。流れとして、この委員会の中で小委員会を作るという考え方は少し乱暴であると感じる。8月27日全員協議会において、議会運営委員会からの説明後、特別委員会を設置し事業を実施していくことで同意し、本会議で議決したという責任は考えるべき。また、記念誌行事内容を決定し、その後、部会を作り進めていく方がよいと思う。議長から一定の方向性を示して欲しいと言われていた。その点は委員会で決めていくべき。また、中間報告として考えられないか検討して欲しい。50周年記念事業に関してどのようなことを実施するのかということを検討して欲しかった。しかし、そこまで話し合いができない。次の検討場所がどこになるかわからないが、そこで内容的なもの話し合っほしい。次回、正式な報告書を確認してもらい、この委員会を終了の方向で考える。次のページ参ります。終わりに、実施検討を目的に本委員会は設置されたが、特別委員会の性質上、ゼロベースでの協議を行うこととした。3回にわたる特別委員会開催の中で、設置以前に十分協議すべきだった意見が多く出されたことは残念である。町民と歩む議会を基軸に長与町議会基本条例が制定

されたが、住民への議会への理解を深めてもらう機会であり、9月議会で議決した責任の下、前向きな協議を期待したが後退した感が否めない。事業内容に関しては、記念事業に関する調査票の結果を基に考えると、記念誌作成は実施してもよいとする委員も多く、今後、協議、実施されることになると思う。また、内容決定後に予算関連の検討も必要であることから、執行部との協議が必要とされることも考慮すべきである。次に記念行事に関しては、内容の方向性が定まっていなが、記念誌同様実施するとした委員が多数であることから、議会の50周年記念事業に値する新たな事業選択をしていくことになると思われる。以上、当初の委員会の目的からは多少乖離しているように思えるが、各委員の意見の場になり得たことはよしとすべきであると考えている。この報告書において特別委員会を終了するが、議長判断の上、今後の記念事業実施に期待するものである。以上です。

○委員長（金子恵委員）

今、事務局の方から読んでいただきましたけれども、事前にお詫びを申し上げないといけないのは、この特別委員会の報告書というのを私初めて作りましたので、多少私見が入ったり、ちょっと偏った表現をしている部分もあるかもしれないんですけども、これがこの特別委員会の報告書として公になりますので、そこら辺は厳しい目で御意見をいただいて結構ですので、何かお気づきの点がありましたらお願いしたいと思います。何かありませんか。これでよろしいでしょうか。

竹中委員。

○委員（竹中悟委員）

今日は余り発言をするつもりなかったんですが、終わりの文章で今委員長が自分で行われたように、やっぱり私見が入り過ぎてると思うんですね。今後の記念事業に期待するとか、あと残念であるとか、こういう文章は余りよくないと思う。だからありのままを書いたほうが良いと思う。どこをどう訂正せろっていうことも今すぐ判断できないんですけど、言われたようにちょっと私見が出すぎてると。そういう感じがしました。

○委員長（金子恵委員）

多分、今、おっしゃられたのは、3行目、意見が多く出されたことは残念である。出された、で終わっていいと思います。出された、でそうですね。

しばらく休憩します。

（暫時休憩）

○委員長（金子恵委員）

休憩を閉じて委員会に戻します。報告書内容に関しましては、様々な御意見をいただきました。そして、文言の整理そして表現の仕方の部分ですね、そういうところでのいろいろな御意見がございましたので、そちらの方を網羅した報告書にさせていただきたいというふうに考えております。そして3ページ目に記念事業に関する調査の実施ということで、集計結果を委員名を列記したものを載せておりますが、こちらの方は全て削除

をして後ろの方に皆様からいただいた記念事業に関する調査票を添付するというので、結果のまとめというふうにしたいと思います。そして、そちらの方の改めた文章を皆様のボックスの方に入れさせていただいて、それをこの調査票に添付して議長の方に報告として、この委員会を終了させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

それではそのような作業に移らせていただきたいと思います。

では、その他、皆様から何かございませんか。

ないようでしたら第4回長与町議会50周年記念事業特別委員会を終了させていただきます。長与町議会50周年記念事業特別委員会はこの4回をもって終了といたします。

皆様お疲れさまでした。

（閉会 10時13分）

委員長